

舶工第437号  
令和3年12月2日

会 員 各 位

一般社団法人日本舶用工業会  
専務理事 安藤 昇  
(公印省略)

令和3年度 若手・新入社員教育研修の開催について (ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当工業会では、人材確保・養成対策事業のうち、会員企業の社員向けの社会人教育事業の一環として、平成28年度より「若手・新入社員教育研修」を実施していますが、残念ながら昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。

今年度は、直近の感染状況が落ち着いている状況を踏まえ、参加者が安心して研修に参加できるよう国及び地方自治体から示されている方針に従い、会場の感染症対策に万全を期した上で、参加者にはワクチン接種歴又は陰性の検査結果(ワクチン・検査パッケージ)の事前提出をお願いすることを条件として、対面形式で実施します。

本研修は、今後の舶用工業を支える若手・新入職員が、①社会人としての考え方やマナー等を身に付け、②舶用工業を含む日本の海事産業全般に関する基本的知識を学ぶとともに、③業界内で相互交流する機会を提供することを目的としており、以下の日程で、人材養成検討委員会アドバイザー等による講義のほか、ビジネスマナー講座、施設見学、交流会、グループワーク等を実施致します。

つきましては、本研修に参加ご希望の会員企業におかれては、来る12月24日(金)までに添付の申込書に必要事項をご記入の上、当会宛にお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、実施形態の変更や延期、中止となる可能性もあることをご承知おき下さい。

敬具

<開催日程>

令和4年2月16日(水)～18日(金)(2泊3日)

<添付資料>

- ・令和3年度 若手・新入社員教育研修の実施要領
- ・令和3年度 若手・新入社員教育研修 スケジュール(案)
- ・令和3年度 若手・新入社員教育研修 申込書

(問い合わせ先)

一般社団法人日本舶用工業会 業務部 山内/中島  
TEL: 03-3502-2041(代表) / 080-4080-8174(山内) FAX: 03-3591-2206  
E-mail: yamauchi.yuto@jsmea.or.jp

# 令和3年度 若手・新入社員教育研修の実施要領

## 1. 目的

会員企業に対して、今後の船用工業を支える若手・新入職員が、①社会人としての考え方、マナー等を身に付け、②船用工業を含む日本の海事産業全般に関する基本的知識を学ぶとともに、③業界内で相互交流する機会を提供する。

## 2. 対象者及び研修人員

- (1) 原則として当会会員企業の若手・新入社員
- (2) 30名以内

※1社当たりの参加人数に上限は設けませんが、定員を上回る申込があった場合は調整をお願いする場合があります。

## 3. 参加条件

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、下記(1)、(2)のいずれか一方の書類(写し可)を事前に準備し、研修開催前日までに当会事務局に提出することを参加条件とします。予め同意の上で、お申込み下さい。

### (1) ワクチン接種済を証明する書類

2回目接種日から14日以上経過している予防接種済証等(接種証明書、接種記録書等)  
※予防接種済証等の有効期限は定めない。

### (2) 新型コロナウイルス陰性の検査結果を示す書類

研修開催日の3日以内に検体採取されたPCR検査等の検査結果  
なお、抗原定性検査については、有効期限が検査日より1日以内とされているため、今回は対象外とします。

本参加条件は、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部が示している「ワクチン・検査パッケージ」([https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel\\_coronavirus/th\\_siryoku/kihon\\_r\\_031119\\_1.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/novel_coronavirus/th_siryoku/kihon_r_031119_1.pdf))の記載に準拠しています。

## 4. 参加費

8万円(税込み)

※申込確定後のキャンセルは、原則として費用全額を御請求します。

※参加費には、宿泊、食事費用・見学先への移動費用等を含みますが、研修場所までの往復交通費は各社でご負担をお願い致します。

## 5. 日程

令和4年2月16日(水)～18日(金)(2泊3日) ※集合時間は初日の13時

## 6. 場所

(1) 研修場所：L stay&grow 南砂町（東京都江東区南砂 7-10-14）

\*研修場所における新型コロナウイルス感染予防の取り組みについては、下記 URL をご参照下さい。

<https://lstayandgrow.jp/social/>

(2) 見学先：国立研究開発法人 海上技術安全研究所（東京都東京都三鷹市新川 6-38-1）

\*見学先への往復移動手段は当会にて手配します。

## 7. 研修の形式及び内容（予定）

(1) 合宿形式

(2) 研修内容は下記の通り（別紙スケジュールを参照）

目的	研修科目（仮題：順不同）	講師	形態
船用業界の現状を多角的に学ぶ	世界の海上物流を支え成長を続ける船用工業（イントロ）	事務局	講義
	船用工業における安全環境対策の重要性		
	船用工業と若手人材への期待	矢吹 アドバイザー	
	船用工業におけるグローバル展開の最前線	藤本 アドバイザー	
社会人として必要な心得を身に付ける	ビジネスマナー講座 ①学生と社会人の違いを考える ②チームに貢献する仕事の進め方	(株)インソース	講義 グループワーク
時間的制約の中での的確に相手に情報を伝える	自己紹介及び自社製品等の紹介 (研修生 1 名 5 分程度)		プレゼン演習
技術開発の現場を学ぶ	海上技術安全研究所		見学
船用業界についてチームで考える	グループワーク		グループワーク
諸行事	オリエンテーション、交流会、修了式等		

\*研修内容は、予告なく変更となる可能性があります。

以上